

令和3年度当初予算要求状況の公表に係る県民意見と反映状況

「令和3年度当初予算」要求状況に対し、県民の皆様からいただいたご意見の概要、それに対する県の考え方及び予算への反映状況は次のとおりです。

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況	所管課
1	<p>コロナ禍においても、アートを鑑賞・体験することができれば、心豊かに生活することができます。その中で、気軽に上質なアートを鑑賞・体験できる「ベップ・アート・マンス」や「イン別府」はとても素晴らしい取組だと思います。引き続き、芸術文化を鑑賞する機会の提供をお願いします。</p> <p>また、芸術文化は心を豊かにするだけでなく、観光誘客にも有効だと思います。県立美術館や現代アートなどを活用し、県内外から観光客を呼び込むことで、コロナ禍で落ち込んだ経済の再活性化を図ってはいかがでしょうか。</p>	<p>潤いのある心豊かな生活の実現に芸術文化は不可欠であることから、ウィズコロナにおいても引き続き、多様な芸術文化で県内全域を彩り、創造的で活力あふれる地域社会の構築を進めます。</p> <p>特に来年度は、コロナ禍でも芸術文化を楽しめる環境づくりに向け、県立美術館の所蔵品のデジタル化などに着手したいと考えています。</p> <p>また、芸術文化の力を活用した観光誘客を進めるため、県立美術館と各地の芸術文化活動・資源等をつなぐツアー造成など、県立美術館を中核としたカルチャーツーリズムの展開を予定しています。</p>	芸術文化スポーツ振興課
2	<p>共働きで、子ども（小学生）がいますが、子どもが病気になった時に夫婦とも仕事を急に休むことが難しく、どうしても休めない時は、病児保育を利用しています。</p> <p>私は大分市に在住しており別府市で働いているのですが、別府市から大分市の病児保育施設に子どもを迎えに行くため結果的に1時間程度仕事を休む必要があります。</p> <p>職場近くの病児保育を利用しやすい体制づくりをお願いします。</p>	<p>病児保育については、市町村と連携して、利用定員の増加など事業の充実を図っており、5歳未満人口1万人あたりの施設数は6.6施設と全国10位、九州1位となっています。</p> <p>令和3年10月からは、居住市町村だけでなく、他市町村（職場周辺等）での利用がしやすくなるよう、県内全市町村で広域化協定を締結するほか、スマホ等から施設の空き状況の確認や予約が出来るICT化を実施予定です。</p> <p>今後も、子育てと仕事の両立を支援することで安心して子どもを生み育てられる環境づくりを推進してまいります。</p>	子ども未来課
3	<p>昨年、県内を襲った7月豪雨や台風10号など巨大台風の発生、また猛暑日の増加など、地球温暖化がますます進み、その影響も出ているように思います。今後、温暖化の影響がどのようになるのか、とても心配です。また、自分たちの子どもや孫のためにも、温暖化をなんとしても、食い止めないといけないと思います。</p> <p>国も2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを達成するとしています。大分県も、温暖化問題に関して、積極的に取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>県では、令和2年3月の大分県環境基本計画の改定に併せ、国に先駆けて温室効果ガス排出実質ゼロ表明を行ったところです。</p> <p>達成に向けては、一人ひとりの生活スタイルや行動を変えていくことが大変重要です。そのため、来年度は、家庭における省エネ活動につながる九州エコファミリー応援アプリを普及させ、県民一人ひとりのライフスタイル転換を促進することや、企業の温室効果ガス排出抑制につながるJクレジット制度の活用促進等を行います。</p> <p>また、気候変動の影響による被害を回避・軽減する対策を充実させるため、県内の気候変動情報を収集し、地域別の気候変動予測を作成することとしています。</p>	うつくし作戦推進課
4	<p>大分空港にアジア初となる宇宙港が開港されるとニュースで聞いた。宇宙港の開港を契機に地場企業の宇宙産業参入や観光などの新たな展開につなげてほしい。</p>	<p>県では令和2年4月に米国ヴァージン・オービット社と、大分空港を水平型宇宙港として活用することに関するパートナーシップを発表し、最速で、令和4年に人工衛星を打ち上げることを目標に取り組んでいます。</p> <p>来年度は、宇宙港の運用に必要な調整を進めるほか、宇宙港を核とした新たな経済循環創出に向けた調査や観光面での受入準備等を進めていきます。</p> <p>また、県内企業に宇宙関連産業への参入可能性を感じてもらうため、今後市場の拡大が予想される衛星データ活用に関するセミナー等も実施してまいります。</p>	先端技術挑戦室 新産業振興室

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況	所管課
5	<p>令和4年度に第45回全国育樹祭が大分県で開催されると聞きました。</p> <p>もともと令和3年度の開催予定がコロナの影響で1年延期になったようですが、全国的なイベントにも関わらず、あまり周知されていないように思います。</p> <p>また、会場が県民の森平成森林公園とのことでしたので、スマホからホームページを見てみたところ、パソコン用のものしかなく非常に見にくいと感じました。これを機会に県民の森のホームページをスマホ対応にしてみたいかがでしょうか。</p>	<p>令和4年の第45回全国育樹祭大分大会の開催を通じ、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するとともに、大分県の魅力ある森林・林業に興味・関心を持ってもらうため、令和3年度は広報・普及啓発活動を強化することとしています。</p> <p>新聞、雑誌、インターネット等の活用や記念行事の開催、各種イベント等での出張PRなど、あらゆる機会を通じて全国育樹祭大分大会開催やその目的の周知を図っていきます。</p> <p>また、県民の森のホームページについては、令和2年度中にスマートフォン対応に改修する予定です。</p>	<p>全国育樹祭推進室 森との共生推進室</p>
6	<p>昨年は7月豪雨によって県内各地で大きな洪水被害が発生しました。</p> <p>近年、全国でも水害被害が多く発生しているが、大雨の時に状況がもっと分かるようになると早めの避難につながるのではないのでしょうか。</p> <p>昨年被災した地域の復旧と併せて、県全体の防災対策を進めて欲しいと思います。</p>	<p>県では、令和2年7月豪雨による被害を受け、災害復旧工事を進めるとともに、玖珠川や花合野川の改良復旧工事を実施しています。</p> <p>これに加え、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」関連予算を活用した治水対策や海岸・河川施設の抜本的な強化を進めます。</p> <p>併せて、中小河川のハザードマップ作成支援や水位計・河川カメラ増設による「災害の危険性の見える化」など、ハード・ソフトの両面から事前防災による県土の強靱化を加速・深化させていきたいと考えています。</p>	<p>河川課</p>
7	<p>今後、英語教育が大きく変わり、実際のコミュニケーションに役立つ力が重視されるようになり、令和6年度の大学入学共通テストでも、この力が評価されるということを知りました。</p> <p>現在、中学生の親ですが、子ども本人も親としても、とても不安に思っています。</p> <p>高校の授業で、十分な指導が受けられる体制づくりをお願いします。</p>	<p>本県では、これまでも、グローバル化が進む社会で世界の人々と英語によるコミュニケーションが円滑に図れるよう、小中高を通じて、英語教育における「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の育成について総合的に取り組んできました。</p> <p>来年度は、令和4年度からの学習指導要領の改訂を見据え、全県立高校生を対象とした4技能英語力認定テストを実施するとともに、4技能がバランス良く身に付くよう、効果的な指導と実践に重きを置いた大分県版4技能育成システムを構築し、教員の指導力強化と生徒の主体的な学習意欲の向上を目指していきます。</p>	<p>高校教育課</p>